

(様式 1-3)

福島県（浪江町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 30 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	103	事業名	浪江町一樹サポートセンター運営事業	事業番号	(3)-26-2
交付団体	福島県	事業実施主体（直接/間接）	浪江町（間接）		
総交付対象事業費	(53,436) 94,413（千円）	全体事業費	(53,436) 94,413（千円）		

帰還環境整備に関する目標

平成 29 年 3 月の避難指示解除にともない、約 360 名の町民が帰還した。そのうち 65 歳以上が 159 名で、その割合は 44.2%となっている。年齢別の状況をみると 60~79 歳が全体の 47%と多くを占めていることから、高齢者が安心して帰還でき、帰還後も健康な生活を送ることができる環境を整備する。

事業概要

町内の既存介護施設「一樹デイサービス」の施設を賃借し、サポートセンターを設置する。
なお、当該センターを町において直接運営することは困難であるため、町内の福祉事業所である「NPO 法人 Jin」へ委託する。

【サポートセンター概要】

高齢者等、在宅生活に支援が必要な帰還者に対し、以下のサービスを実施する。

(1) サービス内容

- ・総合相談、生活指導
- ・地域交流サロン
- ・生活不活発病予防のための活動・健康相談（体操教室、農作業による健康づくりなど）
- ・在宅生活を維持、継続するための総合支援等
- ・上記に係る送迎

(2) 利用見込数

- ・介護保険デイサービス事業の再開の目途となる要介護者の利用者数 26 名/日
- ・30 年度末のサポートセンター利用者見込数 15 名/日

(3) 開所日 月曜日～金曜日

※復興計画等上の位置付け

【浪江町復興まちづくり計画】

Ⅲ 復興まちづくり方針

1 避難指示解除に向けたまちづくり方針（平成 29 年 3 月までに準備するもの）

(6) 生活環境の確保

③福祉・高齢者・子育て支援施設

- ・既存施設の再開や介護・福祉等の一体型センター拠点の整備により、それらの機能を確保します。

※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください

当面の事業概要

<平成 30 年度>

- ・サポートセンター運営

地域の帰還環境整備との関係

町内の環境整備としては、災害公営住宅、仮設商店街、診療所、認定こども園、小中学校などが整備されている。本事業の実施により、これらの事業と一体となって高齢者が安心して生活する環境を整備することができる。また、本事業を実施する施設の所在地は、認定こども園、小中学校、災害公営住宅などの整備地に近接しており、これらの事業と連携した世代間の交流活動（例. 餅つき大会、野菜づくり、流しそ

うめん、太巻きづくりなどのイベント)を通じて地域社会との共生が期待できる。

関連する事業の概要

浪江町サンシャインサポートセンター運営事業

在宅の高齢者をサポートする事業として別途実施する。この事業との連携により、在宅からデイサービスまで幅広く高齢者をサポートすることが可能となり、高齢者等の帰還につながる。

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--

浪江町 サポート拠点位置図

